

6. 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動について報告します

西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟は、2004年に中野区民、中野区議会、中野区が一体となって、西武新宿線の踏切渋滞などを解消するために結成され、決起大会の開催や関係機関への要請活動を継続的に行っています。

2017年度の決起大会は、8月24日に野方区民ホールで開催しました。大会当日は、20の加盟団体や地域住民の方々など約250名にお集まりいただきました。また、来賓として国会議員や都議会議員、東京都、西武鉄道株式会社、杉並区、杉並区まちづくり協議会の方々にご出席いただきました。

決起大会では、①西武新宿線の中井駅～野方駅間の連続立体交差事業の着実な推進、②野方駅～井荻駅間の連続立体交差事業の早期実現、③連続立体交差事業及び沿線まちづくり事業の安定した財源確保の3点について、関係機関に働きかけていくことを決議しました。

関係機関への要請活動では、期成同盟会長、中野区議会議長、中野区長が代表して、若林西武鉄道株式会社代表取締役社長、石井国土交通大臣、岡本財務省主計局長、邊見東京都技監を訪問し、要望書を手渡して決起大会で決議した内容を直接伝えました。



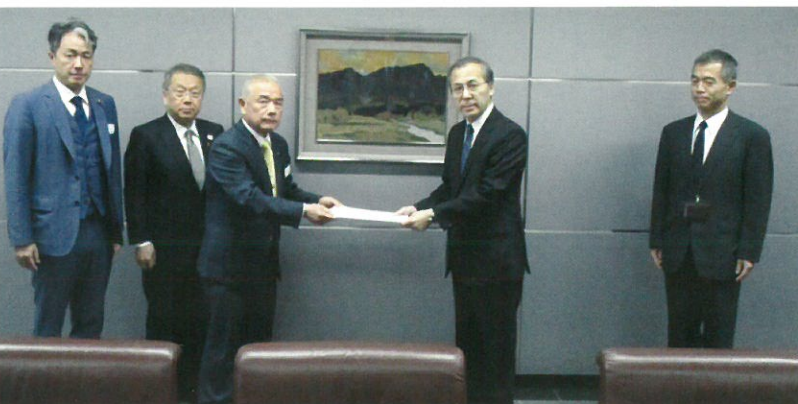
▲来場者全員で「がんばろう」を唱和 (2017年8月24日)

▲国土交通省への要請活動 (2017年12月19日)



▲財務省への要請活動 (2017年12月19日)

▲東京都への要請活動 (2018年1月26日)



▲西武鉄道株式会社への要請活動 (2017年11月22日)

＜お問い合わせ＞
中野区 都市政策推進室
西武新宿線沿線まちづくり分野
TEL : 03-3228-5405
FAX : 03-3228-5417
E-Mail : ensematidukuri@city.tokyo-nakano.lg.jp

※連続立体交差事業や沿線まちづくりについては中野区ホームページにて「西武新宿線沿線まちづくり」と検索するとご覧になれます。

目次

1. 沼袋駅周辺地区のまちづくりについて報告します
2. 新井薬師前駅周辺地区のまちづくりについて報告します
3. 新井薬師前駅及び沼袋駅周辺地区のまちづくり推進プランを策定しました
4. 野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺地区のまちづくりの検討が進んでいます
5. 補助第227号線現況調査説明会を開催しました
6. 西武新宿線踏切渋滞解消促進期成同盟の活動について報告します

1. 沼袋駅周辺地区のまちづくりについて報告します

沼袋駅の西側に位置し、新青梅街道から妙正寺川に至る「都市計画道路区画街路第4号線」は、2017年8月9日に東京都から事業認可を取得し、道路の幅員及び駅南側の交通広場の整備を行う事業に着手しました。今後、2026年3月末の完成を目指し、整備を進めていきます。整備の順序としては、西武新宿線連続立体交差化の作業ヤードとしての活用や、平和の森公園の新体育館整備による新たな来訪者に対応するため、駅南側の交通広場部分から着手し、その後、商店街部分に着手する予定です。

また、区画街路第4号線沿道地区における商店街の連続性の確保や地域の防災性の向上、にぎわいの創出を図るため、土地利用の方針や建物の建替えのルールなどを定めた地区計画等の都市計画決定に向けた手続きを進めています。

2017年度は、これらについての説明会を計11回開催し、延べ237人の方にご参加いただきました。説明会でいただいたご意見などを参考に、まちづくりを進めていきます。



▲説明会の様子



▲区街4号線事業範囲

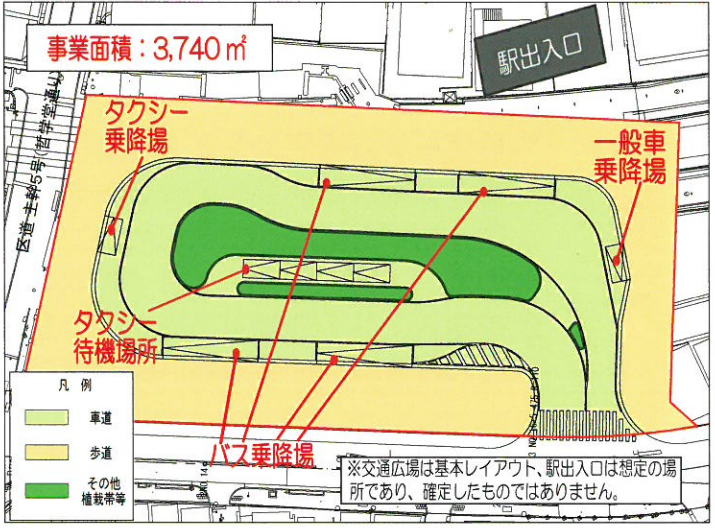
2017年度に開催した沼袋駅周辺地区のまちづくりに関する説明会の開催概要

開催日	説明会名 (会場)	説明内容
9月3日、5日	沼袋区街4号線沿道地区地区計画等素案説明会 (沼袋区民活動センター・新井区民活動センター)	・地区計画等素案 ・用途地域等の変更素案
10月15日、16日	沼袋区街4号線沿道地区地区計画等原案説明会 (沼袋区民活動センター・新井区民活動センター)	・地区計画等原案 ・用途地域等の変更原案
11月17日、18日	東京都市計画道路区画街路中野区画街路第4号線事業概要及び用地補償説明会 (沼袋区民活動センター)	・区画街路第4号線の事業概要 ・用地補償 等
12月8日、9日	沼袋区街4号線沿道地区地区計画等案説明会 (沼袋区民活動センター・新井区民活動センター)	・地区計画等案 ・用途地域等の変更案

2. 新井薬師前駅周辺地区のまちづくりについて報告します

新井薬師前駅の南側に位置する「都市計画道路区画街路第3号線（交通広場部分）」は、2017年2月13日に東京都より事業認可を取得し事業を進めています。交通広場の整備により「交通結節機能（鉄道・バス・タクシーの乗り換え利便性等）の強化」、「安全で快適な歩行空間の創出」といった効果が期待されます。

2023年3月末の完成を目指し整備を進めていきます。関係権利者や利用者の皆様にご負担をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願い致します。



▲新井薬師前駅交通広場の整備イメージ

3. 新井薬師前駅及び沼袋駅周辺地区のまちづくり推進プランを策定しました

「西武新宿線沿線まちづくり整備方針」（2015年9月策定）で示した4つの施策である「新たなにぎわいの創出」「交通基盤の強化」「防災性の向上」「自然や歴史文化資源を活用したまちづくり」を進めるための具体的な取り組みやスケジュールを示すため、「西武新宿線沿線まちづくり推進プラン（新井薬師前駅周辺地区編）」及び「西武新宿線沿線まちづくり推進プラン（沼袋駅周辺地区編）」を2017年5月に策定しました。

まちづくり推進プランに基づき、「駅を中心として生活利便性が高く、安全・安心で住み続けられるまち」を実現するために、今後も地域の皆様と協働して取り組みを進めていきます。

まちづくり整備方針

地区の将来像

新井薬師前駅周辺地区：「歴史文化の薫りを求めて、誰もがゆっくり散策できるまち」

沼袋駅周辺地区：「妙正寺川と豊かな緑に恵まれ、憩える生活環境があるまち」

将来像を実現するための4つの施策

- ① 新たなにぎわいの創出
- ② 交通基盤の強化
- ③ 防災性の向上
- ④ 自然や歴史文化資源を活用したまちづくり

まちづくり推進プラン

方向性：駅を中心として生活利便性が高く、安全・安心で住み続けられるまちの構築

【駅前地区】
にぎわいにあふれ、駅や駅周辺で日常的な用事がすむまち

【都市基盤】
徒歩・自転車・公共交通で移動ができるまち

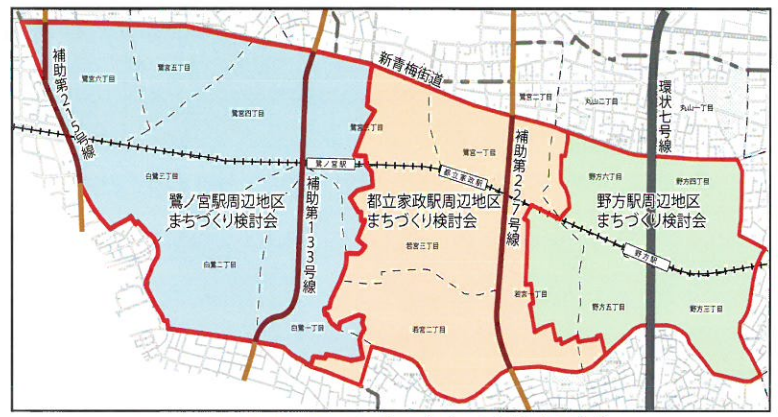
【周辺地区】
良好な住環境が形成されているまち

将来像を実現する4つの施策に対応したまちづくりの具体的な展開

4. 野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅周辺地区のまちづくりの検討が進んでいます

野方駅・都立家政駅・鷺ノ宮駅の各駅周辺地区では、地域の方々が主体となってまちづくりの検討を行う「まちづくり検討会」が設立されています。検討会は、地域の皆様にアンケートを実施したり、検討内容の中間報告会を開催したりするなど、会員だけでなく地域の皆様が一体となってまちづくりを進められるように精力的に活動しています。こうした活動を経て、まちづくりの目標やテーマ、方針や具体的な取り組み等を「まちづくり構想」としてとりまとめ、区に提出していただく予定です。（野方駅と鷺ノ宮駅周辺地区では2018年3月中旬に報告会を開催予定）

区は、検討会の活動を支援するとともに、「まちづくり構想」の提案等を踏まえ、まちの方向性を示すまちづくり整備方針を策定し、地域の皆様と協働してまちづくりを進めていきます。



▲各駅周辺のまちづくり検討区域

野方駅周辺地区まちづくり検討会 (<http://nogata-machizukuri.com>)



◀地域への中間報告会（2017年6月開催）

<開催状況>
検討会20回開催

<今後の予定>
地域への報告会
3月9日、10日（予定）

都立家政駅周辺地区まちづくり検討会 (<http://toritsukasei-cdc.com>)



◀野方警察署員を交えての検討会（2017年2月開催）

<開催状況>
検討会17回開催

<今後の予定>
地域への報告会
2018年度上半期（予定）

鷺ノ宮駅周辺地区まちづくり検討会 (<http://saginomiya-cdc.com>)



◀第八中学校生徒会との意見交換会（2017年10月開催）

<開催状況>
検討会18回開催

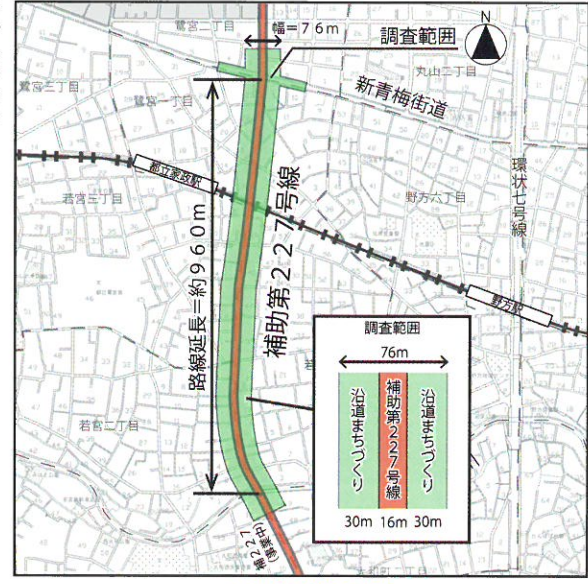
<今後の予定>
地域への報告会
3月16日、17日（予定）

5. 補助第227号線現況調査説明会を開催しました

都市計画道路補助第227号線を整備するにあたり、道路や沿道の土地の形状、建物の位置を把握するための調査について説明会を行いました。説明会は2017年7月7日、8日に計2回開催し、延べ134名の方にご参加いただきました。

●主な質疑と回答の概要

- Q道路の幅は、16mより広がることはあるのか。
→幅16mより広い道路に変更することは考えておりません。
- Q現在の道路（幅6m）から両側に5mずつ後退するのか。
→場所によって後退距離は違います。
- Qいつ事業に着手するのか。
→まちづくりの進捗を見ながら、検討していきます。
- Q沿道まちづくりの範囲（幅30m）は、何をやる範囲なのか。
→まちづくりのルールなどを皆様と検討していく範囲です。



▲調査範囲図